

南国殖産株式会社

2026 年 9 月 15 日
積水化学工業株式会社
積水ソーラーフィルム株式会社
株式会社鹿児島銀行
南国殖産株式会社

フィルム型ペロブスカイト太陽電池の新仕様実証実験開始について

積水化学工業株式会社（代表取締役社長：清水郁輔、以下「積水化学」）および積水ソーラーフィルム株式会社（代表取締役社長：上脇太、以下「SSF」）並びに株式会社鹿児島銀行（頭取：碓山浩美、以下「鹿児島銀行」）、南国殖産株式会社（代表取締役社長：上野総一郎、以下「南国殖産」）の4社は、台風や塩害など耐候性において実使用環境下における有効なデータが取得可能な鹿児島県志布志市において、フィルム型ペロブスカイト太陽電池の新仕様に係る実証実験（以下「本実証」）を2026年9月4日から開始しました。

1. 本実証の背景

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の導入拡大が求められており、太陽光発電はその主力電源とされていますが、日本は平地面積が少なく従来のシリコン系太陽電池では適地が限られることが課題として挙げられます。

一方、フィルム型ペロブスカイト太陽電池には軽量で柔軟という特長があり、従来は設置が難しかった場所に、簡易に設置できる可能性が高まることから、再エネ導入量を拡大できる有力な選択肢として期待されています。

日本全体での再エネ拡大には、台風や塩害などへの影響を評価することも必要であることから、鹿児島県で初めてとなる実証実験を開始しました。

2. 本実証内容

本実証は、既に事業化しているSSF製フィルム型ペロブスカイト太陽電池の金属屋根モデルを、より軽く・より安価に、より柔軟性を活かした新仕様「シート仕様」に進化させ、鹿児島銀行志布志支店に南国殖産の施工にて設置。台風や塩害の影響が想定される地点にて、施工性をはじめ、耐風圧および耐塩害の評価を中心に検証していきます。

また、同時に特殊金具による「連続設置仕様」の実証も行っており、屋根面積におけるフィルム型ペロブスカイト太陽電池の設置容量の最大化を目指します。

<本実証の詳細>

設置場所	鹿児島県志布志市（鹿児島銀行志布志支店）
設置規模	屋根上にフィルム型ペロブスカイト太陽電池「シート仕様」「連続設置仕様」を設置
実証期間	2026 年 9 月 4 日より約 3 年間
実証内容	➤ 台風・塩害などによるフィルム型ペロブスカイト太陽電池への影響評価 ➤ 施工方法の検証(従来モデルとの差異、効率性評価)



全景



連続設置仕様

3. 今後の展開

鹿児島銀行と南国殖産、SSF による定期点検、実証結果を基に、フィルム型ペロブスカイト太陽電池新仕様の耐候性能の改善や施工方法などの確立へ活かしていくことで、フィルム型ペロブスカイト太陽電池の適用拡大による脱炭素社会実現への貢献を目指してまいります。

以上

<本件についてのお問い合わせ先>

積水化学工業株式会社
コーポレートコミュニケーション部
E-mail : kouhou@sekisui.com

株式会社鹿児島銀行
総務部 ファシリティ管理グループ
TEL : 099-239-9744 (ダイヤルイン)

南国殖産株式会社 (施工に関するお問い合わせ)
ソーラー・バッテリー事業部 太陽光発電課
TEL : 092-791-2259